



みやぎ視能訓練士の会
The Association of Miyagi Orthoptists



2月号の会報をお送りします。

～内容～

- | | |
|-----------------------|----|
| ① <紹介> 北海道医療新聞紹介 | P2 |
| ② <重要なお知らせ> 会員再登録について | P3 |

★☆☆会報、その他に関するお問い合わせ

koho@myg-ort.com

☆☆★会員記録や登録アドレスに関するお問い合わせ

j.ort@myg-ort.com

★☆☆会費に関するお問い合わせ

kaikei@myg-ort.com



北海道医療新聞に道視能訓練士会の会長中川浩明さんの記事

が掲載されました。刺激になりますね！



コメデイカル

2022年から3歳児健診の視覚検査の体制整備として、屈折検査機器に補助金が設けられ、活動に注目が高まっている視能訓練士。道視能訓練士会の会長を務める中川浩明氏に、会の活動や現状について話を聞いた。

道視能訓練士会会長 中川 浩明氏

—会の活動と現状の取り組みについて
オホーツク視能訓練士会と道視能研究会が合併し15年に発足。全道の視能訓練士の資質と社会的地位の向上、一般への視能訓練士の啓発を目的とし、会員数は現在道内6支部92人と、少数ながら精鋭が揃っている。

専門職に聞く



健康維持に貢献している。発足当初からの取り組みとして人材育成を目的に勉強会やセミナーを定期的に開催。特に広大な北海道全域で行うため、演や、会員による自主企画

出シ09に会視ビ町口20座士本一軽ノ、講練日口遠クし、学訓日本内テ業科能任日管イ卒眼能就日クハを大道に会属ツ道校医年長協所オ北門旭21年士学ホ一海学旭21年士学身一年勤2能シ

委員会設け法人化を目指す 常に学ぶ姿勢を忘れず

市民への啓発事業として、子ども職業体験会への参加や、毎年札幌で開催されている「いきいき健康・福祉フェア」にブースを出展。目の相談や眼鏡、ルーペの紹介などを行っている。

多職種連携としては、道作業療法士会など他の職能団体による講演会の開催や、年一回発行の会誌「道」への執筆を職能団体代表に依頼することに関係性を深めている。

—今後について
社会的に信用を得、組織を確かなものにしていくためには法人化が必須。特設委員会を設けて検討を続けており、早急に実現させたい。

また、3歳児健診の視覚検査の他、屈折検査に

に、最初からスカイプなドインターネットを活用し遠隔で実施。新型コロナウイルス感染症発生後も、一切影響を受けることなく継続できている。

2022年3月にはコナクトトレンスメーカーの協力のもと、初めて九州8県の士会と合同セミナーを開催した。参加者は277人と盛況で、今後もオンラインを用いて国内の幅広いエリアとの合同セミナーを継続して

在宅復帰支援に用いられる家屋調査シート

この調査シートは、退院後の生活判断させていただきます。リハビリご提出くださいませうお願い

家屋状況	【傾斜】 一軒建て 【バリアフリー】 あり 【階段】 あり 【浴室・トイレ】 あり
玄関前	【勾配】 あり 【手すり】 あり 【スロープ】 あり
玄関	【ドア】 引き戸 【段差】 あり 【上がり框】 あり
廊下	【廊下幅】 あり 【手すり】 あり
階段	【階段】 あり 【手すり】 あり
居室	【畳】 フローリング 【床】 フローリング 【手すり】 あり
トイレ	【ドア】 引き戸 【段差】 あり 【手すり】 あり
浴室	【ドア】 引き戸 【手すり】 あり

ご自宅やその周辺の詳細で、不安ですか？

湯本部長)に、道内各町村に対し行った、災害時の福祉避難所の現状を確認するアンケート調査とその分析の結果を報告。福祉避難所は99%の市

みやぎ視能訓練士の会 会員のみなさま

重要なお知らせです

現在 170 名超の会員数で運営しておりますが、会費の未納や勉強会(対面・Web)および総会の不参加(書面決議を含む)が目立つようになり、会の運営、活動に支障が出始めています。そのため、

人間的・技術的向上を図るための研究活動 及び情報交換を行う

という当初の目的を再認識するために、**3月より会員の再登録**をいたします。

今後の会の運営方針として、会の活動または運営に参加できる方(対面またはWeb)を対象とします。つきましては、全ての会員に各運営グループに所属していただきたいと思えます。遠方の会員や育休中の会員でも担える役割(Web参加やメールのやり取りなど)もあります。

4月より新たにホームページ・SNSを開設し、新会員へ向けて発信して参ります。

詳細は2月中に配信いたしますので、各自ご確認ください。

みやぎ視能訓練士の会